

治水

発行 全国治水期成同盟会連合会

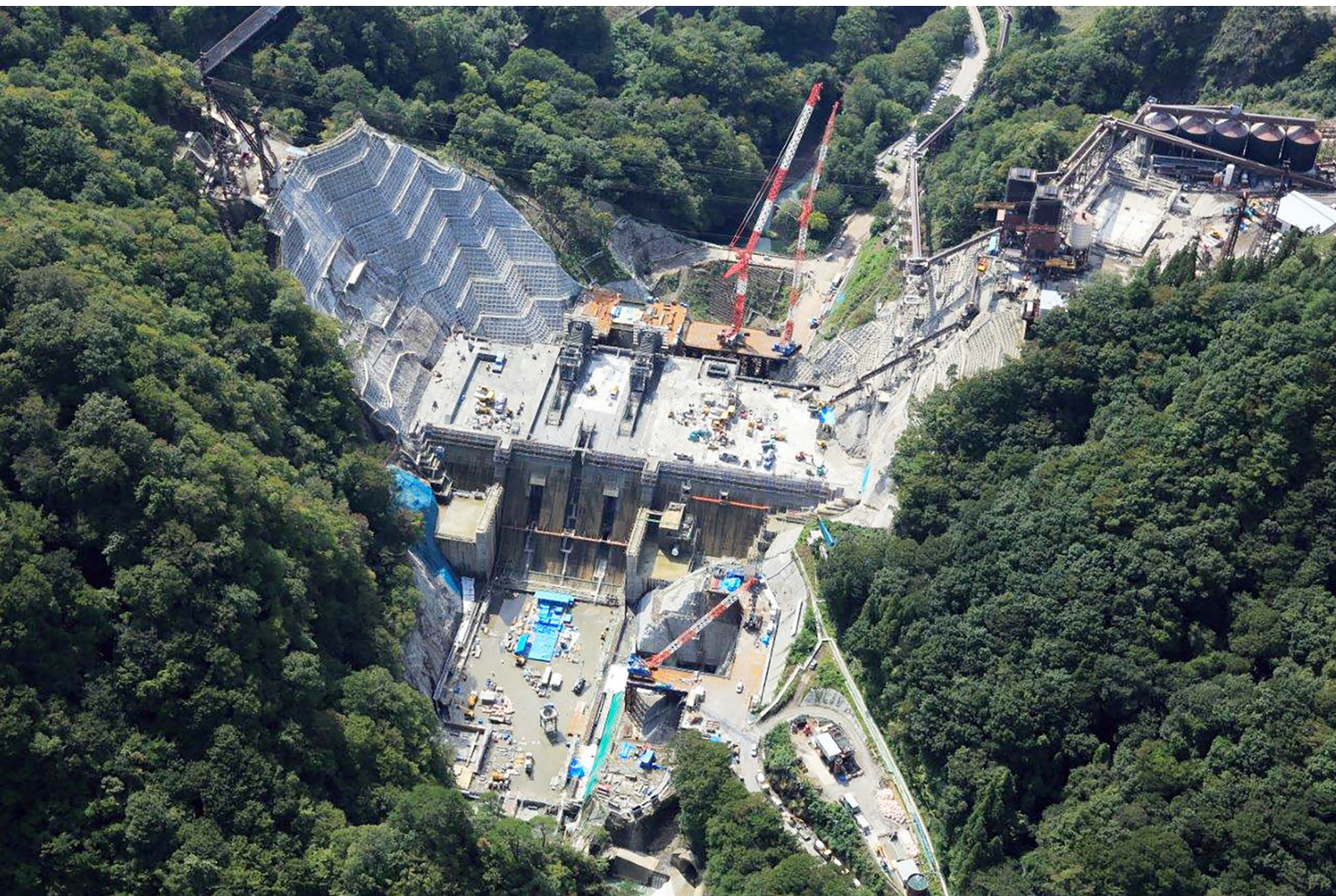
東京都千代田区麹町4丁目8番26号 ロイクラトン麹町

電話 03(3222)6663 FAX 03(3222)6664

ホームページ <http://zensuiren.org/>

お問い合わせ zensuiren@k2.dion.ne.jp

編集・発行 椿本和幸



「建設が進むハツ場ダム」(国土交通省関東地方整備局ハツ場ダム工事事務所提供10月1日撮影)

● 目 次

四国地方治水大会の開催について(ご案内)	1
近畿地方治水大会のご案内	4
平成29年11月20日開催 治水事業促進全国大会開催案内	6

四国地方治水大会の開催について(ご案内)

平成29年11月2日13:30~
松山市 東京第一ホテル松山
愛媛県土木部河川港湾局 河川課

平成29年度の四国地方治水大会の事務局を担当します愛媛県から、本県の紹介と大会のご案内をさせていただきます。

愛媛県のすがた

愛媛県は、四国の北西部に位置し、日本一長い半島である佐田岬半島を境に、瀬戸内海と宇和海の2つの海に面しています。

多島美で知られる瀬戸内海とリアス式海岸や南部海域でサンゴが見られる宇和海は、ともに国立公園に指定されており、愛媛県民のみならず、全国各地から多くの観光客が訪れています。一方、山に目を転じますと、西日本最高峰の石鎚山をはじめとする四国山地がそびえており、その谷間を清水が流れ、魚や昆虫などが多く生息し、多様な自然環境を育んでいます。このように、愛媛県には、海に山に豊かな自然があふれています。

また、松山城、道後温泉本館、内子町や西予市の古い町並みなど、多くの文化財を有しているほか、正岡子規をはじめとする多くの俳人が育った「俳句王国」として知られるなど、歴史と伝統ある文化が今も残されています。



江戸時代から今に伝わる松山城

本県の瀬戸内海側では、年間降水量は1,200~1,400mmと、全国平均の1,700mmよりかなり少ない状況にあり、また、河川の多くは、分水嶺が県境よりも瀬戸内海側に迫っていることから、本県に降った雨もその多くが他県の水資源として流出してしまう地形的な特性を有しており、過去に、しばしば渇水に見舞われてまいりました。

また、地形的に急峻な山稜が海岸線に近接しているため急流の単流河川が多く、通常は表流水が少ないものの、いったん豪雨があると一挙に土砂を押し流す濁流の出水となって、沿岸地域に氾濫し、今日まで多大な被害を与えてきました。

今年も、梅雨から夏期にかけての少雨が影響し、一部の地域では、利水者による取水制限等の調整が行われましたが、9月には四国南部に上陸した台風18号の豪雨により、渇水は一気に解消する一方で、過去5年間では最大の施設被害が発生するなど、渇水と豪雨を経験した年となりました。

河川の現況

本県を流れる河川は、重信川、肱川などの一級水系745河川、二級水系412河川で、合計1,157河川が流れており、総延長は全国8位となる約3,192kmとなっておりますが、時間雨量50mmに対応できる県管理河川の整備率は、平成28年度末現在で45.1%にとどまっております。

近年の浸水被害と今後の取組方針

本県では、梅雨前線や台風による豪雨などにより、過去に幾度となく甚大な浸水被害を受けております。

特に、平成16年の台風16号では、一級河川肱川(大洲市)が氾濫し、床上浸水297戸、床下浸水277戸等を含む浸水面積約840haに及ぶ被害が発生しました。また、平成23年の台風12号、15号では、再び肱川が氾濫し大規模な被害が発生したほか、二級河川内平川(宇和島市)、二級河川界谷川(西条市)などで、床上浸水を含む被害が発生するなど、治水安全度が低く、市街地を流れる河川の治水対策が喫緊の課題となっております。



H16.8月の台風16号で氾濫する肱川

さらに、近年、全国各地で頻発している大規模な洪水に対しても、県と市町等の関係機関、行政と住民が一体となって、ハード・ソフトをバランスよく組み合わせた洪水対策を進めていく必要があります。

このため、ハード対策としては、浸水被害履歴や背後地の人口・資産の状況など、緊急性・重要性等を総合的に判断し、選択と集中を図りながら、効率的・効果的な河川整備に努めております。特に、平成27年9月の鬼怒川流域の堤防決壊による甚大な被害を踏まえ、堤防の決壊により大規模な被害が発生する緊急性の高い箇所について、堤防整備・補強（洪水を安全に流すハード対策）や、越水が発生した場合でも決壊までの時間を引き延ばすよう堤防構造を工夫する対策工（危機管理型ハード対策）を平成28年度から5箇年で重点的に整備しています。

また、ソフト対策としては、「水防災意識社会」の再構築に向け、まずは、今年2月に、県と全市町が連携して、大規模氾濫に備えた避難体制の強化に取り組んでいくことを決め、今年6月までに、各地域に「大規模氾濫減災協議会」を設立し、「逃げ遅れゼロ」を目標とした地域の取組方針を策定しているところです。

その他、平成23年3月の東日本大震災を教訓として、今後30年以内の発生確率が70%程度といわれる南海トラフ地震に備えた対策、さらには、今後急速に進む河川管理施設の老朽化（長寿命化）対策を含めて、本県では、①豪雨対策、②地震・津波対策、③老朽化（長寿命化）対策を治水対策の三本柱として、事業を展開していく方針です。

(二) 国領川（新居浜市）
堤防耐震対策工事

四国地方治水大会の開催

最後になりましたが、毎年開催されております四国地方治水大会は、今年11月2日(木)に県都松山市にて開催することとなりました。

大会会場は、山頂に松山城がそびえたつ勝山(標高132m)の南に位置し、近傍には、道後温泉や近代俳句の祖・正岡子規に関する多彩な資料を展示している子規記念博物館、司馬遼太郎の小説「坂の上の雲」をテーマにした「坂の上の雲ミュージアム」など、たくさんの観光施設があります。

また、近年「東洋のマチュピチュ」と呼ばれ脚光を浴びている、新居浜市にある東平（「とうなる」と呼びます）をはじめとした旧別子銅山の産業遺産を巡ったりすることや、日本で初めて海峡を横断する自転車道を有するしまなみ海道でレンタサイクルを利用し、海と島が織りなす瀬戸内海の美しさを味わうことなどもできますので、お時間がございましたら松山城やこれらの観光施設を訪れることをお勧めいたします。

皆様方がご来県の際には、愛媛の歴史や文化に触れて、新しい愛媛を発見していただくとともに、瀬戸内の豊かな自然と食を堪能していただければと思います。

皆様のお越しを心からお待ち申し上げております。



東平の産業遺産「東洋のマチュピチュ」



多島美の瀬戸内海を横断するしまなみ海道

近畿地方治水大会のご案内

平成29年11月6日(月) 13:30~
京都市 京都テルサ
事務局: 京都府建設交通部 河川課

平成29年度近畿地方治水大会の事務局を担当します京都府から、府のPRと大会のご案内をさせていただきます。府内外から多くの皆様のご参加をお待ちしております。

京都府のすがた

京都府は日本列島のほぼ中央に位置し、4,613.21km²の面積を有しており、国土の1.2%を占め、47都道府県中31番目の大きさとなります。

北は日本海と福井県、南は大阪府、奈良県、東は三重県、滋賀県、西は兵庫県と接しています。南北に細長い形をしており、そのほぼ中央に位置する丹波山地を境にして、気候が日本海型と瀬戸内型に分かれます。

丹後・中丹地域の海岸線は、天橋立などの砂州地形や、舞鶴港をはじめとするリアス式海岸など変化に富む海岸地形で、多くは国立公園、国定公園に指定され、経ヶ岬以西は山陰海岸ジオパークに指定されています。

中丹地域から中部地域は、大部分が山地で、丹波地域を源にして桂川水系、由良川水系に別れ、その流域には、亀岡、福知山盆地のほか小盆地が点在しています。

京都・乙訓、山城中部・相楽地域は、桂川、宇治川、木津川の三川合流を要に、山城盆地が広がっています。



京都市桂川(渡月橋)

河川の状況

本府内の河川は、一級河川は、淀川、由良川の2水系305河川で、河川延長は約1,637.2km、二級河川は89河川で、河川延長は約409.1km、合計394河川、河川延長2,046.3kmに及んでいます



京都市鴨川

近年の災害と事業実施状況

本府では、平成24年から平成26年にかけて、3年連続で災害が発生しており、平成24年の災害は、府南部において、極めて短時間に記録的な大雨が集中的に降ったことが特徴で、死者2名、全壊・半壊201棟、浸水被害3,284棟の被害が出ました。また、平成25年には台風18号の影響により府全域で長時間の大雨となり、気象庁が平成25年8月30日に運用を開始した大雨特別警報が全国で初めて発表されました。この災害により、負傷者6名、全壊・半壊、一部破損家屋662棟、浸水被害4,808棟の被害が出ました。さらに平成26年の福知山市街地を中心とした豪雨では、福知山観測所において観測以来最大の2日間で335mmの雨量を記録し、甚大な浸水被害が発生いたしました。これにより、死者2名、負傷者1名、全壊・半壊・一部破損家屋303棟、浸水被害4,551棟の被害が出ました。



平成25年福知山市由良川（台風18号）

これらの災害を受けて本府においては、天井川について切り下げ工事や、老朽化護岸の改修、水路橋等の耐震化を実施することにより、治水安全度の向上を目指して事業を実施しています。また、浸水被害の解消を目的として、河川の河道拡大などの整備を進めています。さらに、福知山市においては、国、府、市の3者が連携して浸水対策事業を実施することとし、河川改修、調整池、ポンプ施設等を整備することにより、床上浸水被害の概ねの解消を目指して事業を行っているところです。

また、本年9月に発生した台風18号の影響により、主に北部地域において、局所的な豪雨により、中小河川の溢水や、山間部からの鉄砲水により被害が出ている状況となっております。早急に対策を打つ必要があるため、被災者の住宅再建支援や、土木施設の早期の復旧等を図るため、約38億円の補正予算を計上し、一日も早い復旧を目指し事業を進めているところです。



平成29年伊根町筒川（台風18号）

近畿地方治水大会の開催

11月6日（月）に京都市内において近畿地方治水大会を開催いたします。

特別講演には、京都大学名誉教授であり、京都府立京都学・歴彩館館長で、鴨川府民会議の座長を務めていただいている金田章裕様より、「鴨川の流域管理と鴨川条例」をテーマにご講演をさせていただくこととなっております。

最後にはなりますが、世界有数の観光都市であり古都の伝統美が広がる京都市をはじめ、日本海に面し古代から大陸との交流窓口で繁栄した北部地域、美しい里山の風景が広がる中部地域、「宇治茶」「タケノコ」など全国的なブランドを有する南部地域まで、彩り豊かな京都府に是非ともお越しください。



【平成 29 年 7 月九州北部豪雨】赤谷川（福岡県朝倉市）

治水事業促進全国大会

開催日

11月20日(月) 14時～

場所

シェンバツハ・サポー（砂防会館別館）

主催者

全国治水期成同盟会連合会

特別講演 13 時開演

「防災・減災報道最前線」

講演者：中村 淳氏【日本放送協会 人事局副部長 前社会部 災害デスク
地方局は 釧路局、札幌局、大阪局など】



【平成29年7月九州北部豪雨】赤谷川復旧状況（福岡県朝倉市）



【平成29年7月 梅雨前線に伴う大雨】雄物川（秋田市）



【台風18号】大分県津久見市